

特別支援学校中学部 自立活動 学習指導案

1 題材名

「グループで話し合って決めよう」

2 題材について

(1) 題材観

本題材は、特別支援学校学習指導要領・自立活動の内容の区分2「心理的な安定」の項目(2)状況の理解と変化への対応に関することのほか、区分3「人間関係の形成」の項目(2)他者の意図や感情の理解に関すること、区分6「コミュニケーション」の項目(1)コミュニケーションの基礎的能力に関すること、(2)言語の受容と表出に関すること、(5)状況に応じたコミュニケーションに関することに基づいて設定する。

本題材は2～3人の小グループやグループ全体で話し合い活動を行い、考えをまとめたり、1つに決めたりするものである。話し合いを通して集団の中で自分の意見や考えを出し合うことや、他者の考えを尊重しつつ自分の考えも周囲に伝える力を付けることをねらいとしている。

(2) 生徒観

中学部Ⅰ課程及びⅡ課程在籍生徒を個々の課題に応じて4つのグループに分けて指導するグループ別自立活動(以下、G Jという。)を行っている。対象のBグループは、1年生から3年生までの5人の生徒で構成しており、グループでの活動に対して積極的である生徒が多いため、活発に学習を行うことができている。

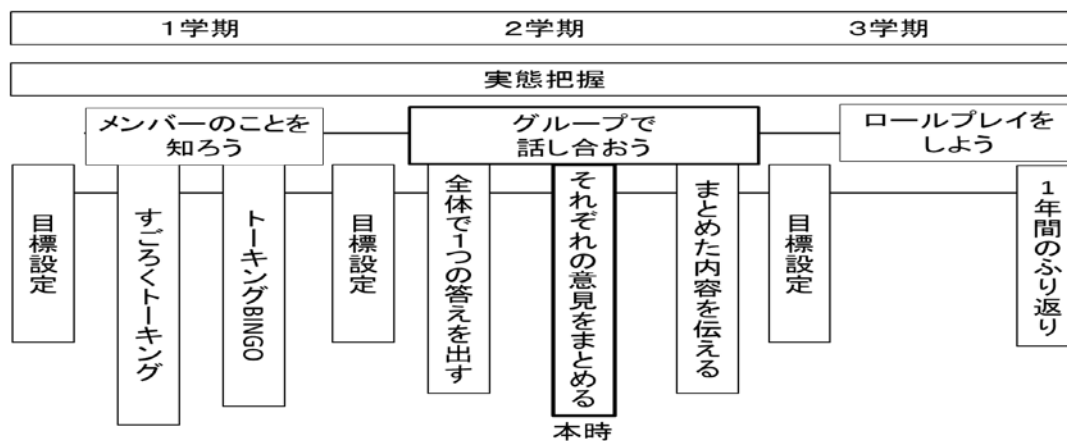
一方、自分の気持ちや考えを伝えるといった人との関わり方に苦手意識が強くはたらくという傾向がある。そのため、会話のマナーや場に応じた発言などを学びながら日常生活で円滑なコミュニケーションを行うことができるようになることを目的として学習を進めている。Bグループでの共通目標として、「グループメンバーに自分の意見を言ったり、話を聞いたりするコミュニケーション能力を付けることができる」を設定し、自分の気持ちを表現し、互いに認め合うエンカウンターを取り入れた活動を中心に学習を重ねている。

(3) 系統観

1学期は最初の授業において、本グループの目標の確認とそれぞれの生徒の目標決めを行った。そして、それらの目標を意識しながら「すごろくトーキング」「トーキングBINGO」等の活動に取り組んだ。その際に、話を聞く態度に気をつけるなどのマナーを学んだり、グループのメンバーとの会話を楽しんだりしながら、G Jの授業を行う時に土台となる生徒同士のお互いを認め合いできる関係づくりや、温かい雰囲気の活動ができるような『グループづくり』を進めてきた。

2学期は、生徒の1学期のG Jの様子も含めた学校生活全体での実態把握を再度行い、それぞれの目標を再設定した。そのうえで、『グループで話し合おう』をテーマに活動内容の計画を立て授業を行っている。最初の授業では各生徒の目標を確認したり、2学期の学習の概要を説明したりした。その後、話し合い活動に慣れるためにペア活動や全体での話し合い活動を取り入れた「テスト前日の勉強法」「食べ物の里」「打順を決めよう」等の話し合い活動を行い、グループで1つの答えへとたどりつく経験を積む学習を繰り返し行っている。本題材では、自分の考えや意見を大事にしつつ、グループ全体としての意見をまとめるための学習を行い、今後は、必要に応じてグループメンバーの入れ換え等を検討し、学習するメンバーが変わったときにも自分の意見を出し、話し合い活動を行うことができるような学習を行う。

3学期は、話し合い活動で身につけたコミュニケーションの技術をさらに高めるために、より具体的な場面設定をしたうえでのロールプレイング活動を行う。



(4) 指導観

学習を進めるにあたっての配慮事項として、話し合う相手を固定し、生徒の学習への意欲が安定し、安心して学習できるような環境づくりを行う。また、2～3人の小グループやグループ全体での話し合いをより充実したものとするために、前時の内容や学習の振り返りを十分に行ったうえで、個人で考える時間を設定し、自分の意見を明確に持ち話し合いに臨むことができるような流れを工夫する。

教材教具の工夫としては、自分の目標やG Jでの約束事を確認しながら学習を行うことができるように、毎回授業の導入でそれらを提示し、意識付けを行う。

その他、毎回の話し合いの場面では、「自分の考えも相手の考えも尊重した上で道具を決める」「相手に遠慮しすぎたり、自分の意見を無理に押し通したりしない」「相手が話しているときには相手の方を見て話を聞く」など話し合いのルールやマナーを事前に説明し、それを意識することで円滑なコミュニケーションを取ることができるようにする。

研究の視点1 「振り返りの工夫」	① 振り返りシートを基に何を振り返るのかを事前に示し活動することで、自他のできたことに着目した振り返りができるようにする。
研究の視点2 「対話活動の工夫」	② 話し合いのルールを示し、自他の目標を共有しながら少人数グループでの話し合い活動を継続して行う。 ③ 前時の振り返りシートの活用等を通して、自分と他者の考えを比較しながら発言しやすいようにする。

3 題材の目標

- グループメンバーに自分の意見を言ったり、話を聞いたりするなどのコミュニケーション能力を高めることができる。
- 自分の意見と他者の意見の共通点や相違点を比較しながら話し合うことができる。
- グループメンバーと話し合った内容を周囲の人へ伝えることができる。

4 学習計画（6時間取扱い 本時5/6）

次	時間	小題材	学習内容
一	1	2学期のG Jの内容を知り、目標を確認しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の目標を決める。 ・2学期の学習内容を知る。
二	1	グループで話し合っよう①	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで1つの答えを出す。「食べ物」の里
三	3 (本時3)	グループで話し合っよう②	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアやグループで話し合い、それぞれの意見をまとめる。「打順を決めよう」「非常用持ち出し袋に何をに入れる？」
四	1	グループで話し合った内容を伝えよう	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合った内容を的確に他のグループの人へ伝える

5 本時について

震度6弱の地震が起こったときのことを想定し、自宅から避難する際に持って行く「非常用持ち出し袋」に入れる道具をグループ全体で話し合っ決めて。前時において、各自で理由や根拠を考えた後、小グループ（2人及び3人）で話し合っ決めて内容をグループ全体で行う。

(1) 本時の目標

○小グループで話し合っ決めて内容を、全体でも同様に話し合い、共通点や相違点を比較することができる。

○小グループで話し合っ内容を全体で伝えることができる。

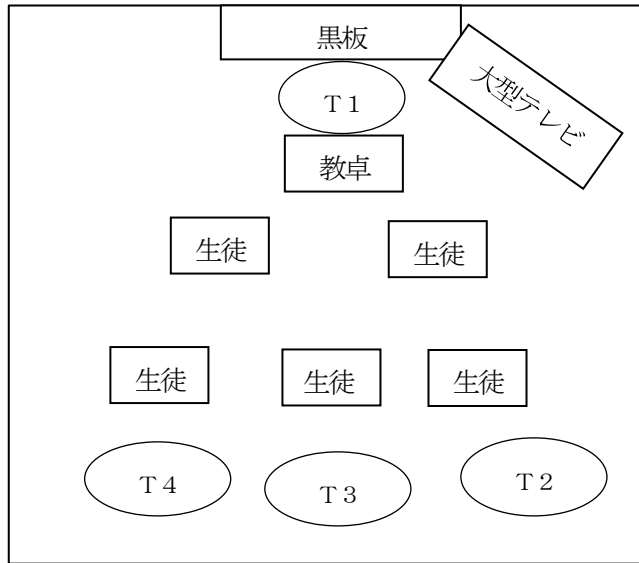
(2) 本時の展開

時間	学習活動	指導上の配慮事項 (★手だての評価)	教材等
導入 10分	<p>1 集合、あいさつをする。</p> <p>2 本時の学習の流れを確認する。</p> <p>3 前時の授業を振り返る。</p>	<p>○号令をかける生徒を指名する。(代表生徒1人)</p> <p>○生徒の表情を見ながら健康観察をする。</p> <p><グループの約束及び目標の確認></p> <p>○本時の学習の流れを確認する。(本時の見通し①)</p> <p>○自分ができたことを確認する。</p> <p>【研究の視点1①】</p> <p>○前時の振り返りシートを活用し、教師からのコメントを確認するとともに教師と目標を共有する。</p> <p>○前時で各生徒がどのように授業に参加していたか、よかった点・本時で頑張りたい点などを各担当教師が適宜伝える。</p> <p>○小グループで選んだ道具をそれぞれホワイトボードに掲示する。</p> <p>○個人の目標を全体で確認する。</p> <p>★本時の意欲向上につながるような前時の振り返りができたか。</p>	<p>グループ目標と個人目標</p> <p>プレゼン資料</p> <p>非常用袋に入れる道具(資料2)</p>
展開 25分	<p>4 本時の学習を知る。</p>	<p>○本時の活動内容を具体的に知る。(本時の見通し②)</p>	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 「非常用持ち出し袋に何を入れる?②Bグループ全体で話し合っ決めよう」 </div>		
	<p>5 グループ全体で道具を選ぶための話し合いを行う。</p>	<p>【研究の視点2②】</p> <p>○話し合い活動のルールを確認する。</p> <p>○グループ全体の意見は多数決で決めるのではなくみんなの意見を合わせたり、新しい考えを入れたりして決定するよう伝える。</p> <p><話し合いの場の設定></p> <p>【研究の視点2②】</p> <p>前時(※1)と同じ内容をグループ全体で話し合うことで、考えをしやすいようにする。</p> <p>(※1)前時の学習:2人及び3人の小グループで行った本時と同様の活動:20の道具一覧から、5つの道具を選ぶ。</p> <p>(1)考えを出し合う。</p> <p>【研究の視点2③】</p> <p>○前時に作成したワークシート①(自分が選んだ道具とその理由を記述したもの),②(自分の選択,他者の選択,前時の小グループによる選択,他のグループの選択等を比較するもの)を見て、共通点や相違点を比較するよう伝える。</p> <p>○話を聞く姿勢や言葉遣い,表情に気を配るよう伝える。</p> <p>○自分の考えを表現することをためらっている生徒には声を掛けるなどして表現できるようにする。</p> <p>★対話活動が活発になるような工夫を行うことができている</p>	<p>ワークシート①,②(資料1)</p> <p>プレゼン資料</p> <p>掲示物</p> <p>話し合いのルールカード(資料3)</p>

	6 グループ全体で決まった道具をまとめる。	たか。 ○5人全員が納得して道具を決めた場合には大いに賞賛する。	
まとめ 15分	7 本時の振り返りを行う。 8 あいさつをする。	【研究の視点2③】 ○メンバーの発言や取組，学習場面のことを振り返ることができるようにシートを作成する。（内容理解，意見を言う，他者の考えを聞く，他者の考えと同じところ・違うところ，目標を意識した活動，他者のよかったところ（グッジョブ紹介 記述），感じたこと（記述）） ○生徒一人一人が振り返りを発表することで，互いの気付きを共有できるようにする。 ○号令をかける生徒を指名する。（代表生徒1人）	振り返りシート （資料4）

(3) 場の設定

- ・一斉指導・振り返りの場面



- ・全体での話し合い活動の場面

